編集後記

今月から特別展『自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美』が始まる。大自然にはぐくまれたカナダの先住諸民族の造形芸術には一種独特の楽しさとユーモアがある。昨年8月号では、北西海岸の先住民のシルクスクリーンが表紙を飾ったが、そこに描かれていたのは「蚊」だった。「表紙モノ語り」(p.11)によれば、この地方の社会では蚊は害虫であるとともに、図案化されて特定の家族の紋章にされたという。その図案は儀式の時につける仮面にも使われ、人びとと祖先や自然とを結びつける働きをする。しかし、その姿は実にユーモラスである。目は穏やかにほほえみ、歯が描かれた口元も心なしか笑っている。夜中に耳元で羽音を響かせながら飛び歩いて安眠を妨げる厄介者だが、このような姿で描かれると憎めない。

カナダの先住諸民族の歴史は決して穏やかなものではなかったが、その動植物に対するまなざしは暖かく、ユーモアにあふれている。この特別展では、そのようなまなざしから生まれた彼らの芸術作品をじっくりと堪能していただきたい。(佐々木史郎)

次号の予告

みんぱくインタビュー
加藤九祚

月刊みんぱく
2009年9月号
第33巻第9号通巻第384号　2009年9月1日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
電話　06-6876-2151

発行人　西尾哲夫
編集委員　久保正敏(編集長)　佐々木史郎　庄司博史
中牧弘允　信田敏宏　山中由里子
協力　財団法人 千里文化財団
制作　京都通信社
印刷　市蔵図書

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館企画連携係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

みんぱくウィークエンド・サロン 研究者と話そう

●予定時間　14時30分から15時30分(予定)。
●特別展示場または常設展示場観覧料が必要です。
＊都合により、予定を変更することもあります。

国立民族学博物館(みんぱく)の研究者が、来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」などなど、話題や内容は千差万別！
どんどん質問もおよせください。展示場でお待ちしています。

9月の開催

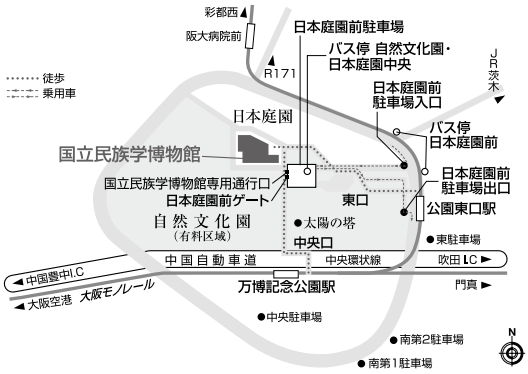
9月6日(日)
話者：廣瀬浩二郎
(民族文化研究部准教授)
話題：点字の宇宙—なぜ『点展』ではなく『点天展』なのか—
場所：企画展「点字の考案者ルイ・ブライユ生誕200年記念・・・点天展・・・」会場

ゴーギャン「タヒチの女」の点図
〈提供・日本ライトハウス〉

9月13日(日)
話者：佐々木史郎(研究戦略センター教授)
話題：シャマンとアニミズムの世界
場所：中央・北アジア展示場内

9月20日(日)
話者：岸上伸啓
(先端人類科学研究部教授)
話題：カナダ先住民のアート
場所：特別展「自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美」会場

9月27日(日)
話者：小長谷有紀
(民族社会研究部教授)
話題：モンゴルの首相が語る、都会人たちの秘密
場所：中央・北アジア展示



交通案内
●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分
●阪急茨木市駅・JR茨木駅・北大阪急行千里中央駅からバスで「日本庭園前」下車、徒歩約15分(茨木方面からは、もっとも近い「自然文化園・日本庭園中央」バス停で下車できるバスが1時間に1本程度あります。詳しくは阪急バスにお問い合わせください)。
●自家用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/